



年 組 名前

道新 ワークシート

樽商大生運営 シェアハウス

若者の活動拠点づくり狙い開業



見学会の参加者にシェアハウスを紹介する歌原代表（右から2人目）

小樽商科大生が設立した合同会社「Portaru（ポータル）」は1日、小樽の繁華街・花園地区にある4階建ての建物にシェアハウスを開業した。建物を所有する札幌の不動産企画会社「大人」（五十嵐慎一郎社長）と業務提携し、ポータルが運営を担う。来春までに順次、同じ建物にカフェバーやゲストハウスもオープンさせ、小樽の活性化につながる施設を目指す。

小樽出身の五十嵐社長が「小樽を若い力でもっと盛り上げたい」と、ポータルとの共同事業を企画。まず商大生など若者の活動拠点をつくらうと、シェアハウスを始めることにした。「大人」が今夏に花園3のゲストハウスだった建物を購入し、9月から部屋の改装など準備を進めてきた。施設は「コミュニティベース Tug-IB」と名付けた。シェアハウスは3階部分で、最大15人の入居が可能。現在は商大生2人が

（谷本雄也）

花園地区 交流の場 カフェも計画

3階にシェアハウスが入る建物



住み、入居者を募集している。料金は月額3万5千円からに設定した。

商大生の約7割が札幌など市外から通学し、駅と学校との往復だけで小樽の街との接点が少ない学生も多い。自身もシェアハウスに入居したポータルの歌原大悟代表(22)は「短期でも小樽に住んで、地元の楽しさを知ってもらいたい」と話す。

このほか、1階は昼にカフェ、夜はパブとして学生や地域住民、観光客が交流できる憩いの場、2階はゲストハウスの開設を計画する。商大生だけでなく気軽に住民が立ち寄れるようにすることで、地域に開いた交流拠点を目指す。

初日の1日には記念イベントを開催。建物内の見学会のほか、カフェの開設を見据えてコーヒーマシンの試飲会などを行った。歌原代表は「さまざまな人が集まり、地域活性化に向けた新たな原動力やプロジェクトが生まれる場所にしていければ」と意気込む。

2021年12月2日（木）朝刊 小樽・後志版 15ページ(記事は再編集しています)

①記事中のぼう線部分「4階建ての建物」についての情報を以下のようにまとめました。空欄に当てはまる言葉もしくは数字を書きなさい。

名 称	(A)
開設予定の施設	1階：(B) 2階：(C)
シェアハウスの開業日	令和 (D) 年 (E) 月 (F) 日

②五十嵐社長がシェアハウスを始めた目的を書きなさい。